

新年度の生活がスタートし、早くも二週間が経ちました。授業も始まり、そろそろ新しいクラスの雰囲気に慣れてきたところでしょうか。3年生は部活動において総決算の時期を迎えます。学校祭も近づいてきました。受験勉強も本格化し、両立は一層難しくなりますが、これ乗り越えようと努力することでしか、「品格あるリーダー」の素養は身につけません。弱音を吐かず、言い訳をせず、無理難題に果敢にチャレンジしてください。

学習習慣をチェックしよう！

さて、皆さんは授業に集中できていますか？ 言うまでもなく、日々の受験勉強の中心に据えるべきは、学校の授業です。一方で、教員に頼るだけでなく、「自立した学習者」になることも受験生には求められます。

先週、皆さんには、スタディーサポート（3月13,15日受験…最後のスタサポでした）の結果が返却されました。皆さんの学力&学習状況が分析された個表に目を通せば、自分の学習面での課題が浮き彫りになっているはず。その課題を克服するために、行動を起こすことができるか否かに、受験の成否はかかっています。

◆表：132回生 平均学力到達ゾーン(GTZ) & 学習時間

	1年次4月	1年次9月	2年次4月	2年次9月	3年次4月
国数英/国英/数英	A2/A3/A2	A2/A3/A3	A2/A3/A3	A2/A2/A3	A3/A3/B1
国語/数学/英語	A3/A2/A3	A3/A3/A3	A3/A3/A3	A3/A3/A2	A3/B1/A3
平日学習時間(*参考値)	92分(77)	73分(76)	73分(76)	75分(78)	107分(135)
休日学習時間(*参考値)	179分(132)	126分(157)	122分(151)	122分(168)	172分(227)

*参考値：難関大(GTZ:Sレベル)合格者の回答内容の平均値

修学旅行以降、少しずつ受験を意識し始めたのか、学習時間が伸び、平日においては入学以来最長となっています。すぐに成果は出ませんが、粘り強く学習を継続することが大切です。

「成績優良者」「成績不振者」の3年生スタート時の学習習慣～スタサポ全国集計から～

【成績優良者】

- ◇ 毎日必ず時間に机に向かい、平日2時間、休日3時間以上の自主学習をしている。
- ◇ 受験に向け、前向きな気持ちで努力したいと思っている。
- ◇ 授業では板書だけでなく、重要だと思ったことはメモをとっている。
- ◇ 配布された教材を用いて、積極的に問題演習にも取り組んでいる。

【成績不振者】

- ◆ 学習にムラがあり、自主学習時間は平日・休日ともに1時間以下。
- ◆ 今後の自主学習の目標も、平日・休日ともに2時間以下。
- ◆ 受験勉強のスタートを先送りしている。
- ◆ 授業中は、ほぼ板書を写すだけ。
- ◆ 定期考査前でも、暗記ばかりで問題演習はほとんどしない。

131回生の担任からアドバイス

先週末の4月12日(金)に、3年新旧担任情報交換会が実施されました。その中で出た、131回生(昨年度の3年生)の担任や進路担当教諭からのアドバイスを、いくつか紹介します。皆さんの一学年先輩を、3年間指導した結果を踏まえた助言ばかりです。ぜひ参考にしてください。

- ▶ 激戦が続く私立大学(上位校では3教科の切れ味が必要)よりも、国公立大学(5教科7科目で負担は多いように見えるが、不得手・不出来科目があっても挽回可能)に向いている生徒が多い。
- ▶ 難関国公立大学合格には時間、量に加えて集中力、質を伴った本格的かつ自主的な受験勉強を継続できる自己管理能力が必要である。
- ▶ 現役生が数Ⅲ・理科2科目を仕上げるには時間がかかる。これができる難関校合格が見える。
- ▶ 難関校でもチャレンジしなければ受からない。
- ▶ 模試は「試験範囲を完璧に理解せよ。」「模試は教材。捨てずに復習せよ。」
- ▶ 5月は中間考査に全力で向かう。学校祭モードになって学習から気持が離れがちになっている。まずは、授業に全力で取り組むこと。
- ▶ 国公立受験者は、はじめから後期までを含めて考えること。
- ▶ 「記述力がない者が私立や国公立の二次に対応できるわけがない」記述模試の復習もしっかり。
- ▶ 私立大学は中期、後期で第一志望に合格した生徒が4名いた。最後まで諦めず受験した生徒が強かった。
- ▶ 私立文系の生徒でも思考力や教養力が足りないと感じた生徒は苦戦していた。
- ▶ 「早寝、早起き、朝ご飯」
- ▶ 意志が弱くて自宅で勉強できない生徒は、学校で勉強する。
- ▶ 受験勉強のスタートから「効率」を求めるべきではない。まず、「量」をこなすこと。
- ▶ 「逃げない」「諦めない」「妥協しない」の「3ない」が合言葉。
- ▶ 苦手教科でやる気をなくした場合は、基本的な問題に戻る。

進路コラム：近年の入試動向から② ～センターの後継試験より～

センター試験に代わる新テスト「大学入学共通テスト」が、2020年度から導入されます(現高2生から対象)。特に大きな変化があるのは英語。従来型の2技能「読む」「聞く」の共通試験に加え、民間の検定試験の活用で「書く」「話す」も評価の対象となります。新テスト自体は、君たち132回生には直接関係ありませんが、新テストの流れは、ここ数年の大学入試問題にも前倒しで少しずつ反映され始めています。受験生にも、記憶力だけでなく、分析力・推測力・判断力、そして表現力が求められるのだということを知っておいてください。